



もとみや

議会だより

第55号

平成31年1月発行



みんなで団子さし!
(本宮第2保育所)

新年度予算要望書を提出	P.6
第6回市民との意見交換会を開催	P.7
一般質問10名が登壇	P.10~15

各会計補正予算など 23議案を可決

12月 定例会

12月定例会（第6回本宮市議会定例会）は、市長から条例の制定や各会計補正予算など22議案と報告1件、議員から発議1件が提出され、討論・採決の結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情1件が提出され、審議の結果、採択と決定しました。

一般会計補正予算

本宮第3保育所整備に
5億7千万円を計上

今議会に提出された平成30年度一般会計補正予算（第6号）の主なものは、歳出では本宮第3保育所整備にかかる経費のほか、福島県市町村振興基金借入金の一部繰上償還を行うための償還金と割引料、市営住宅等管理基金への積立金、本宮運動公園のみんなの原っぱに運動広場を整備する設計委託料などが計上されました。

歳入では、事業費の変更に伴う国・県補助金等の増減や各基金からの繰入金などが計上されています。平成30年度一般会計補正予算（第7号）では、福島県人事委員会の勧告に基づく条例改正に伴い、職員人件費など、803万円が計上されました。

議案質疑

場所の変更は

問 本宮運動公園のみんなの原っぱに整備予定のランニングコースは、場所やコースの変更は可能なのか。また、総事業費はどのくらいを見込んでいるのか。

答 すでに示した基本構想のとおり、現在の場所に設置したいと考えている。総事業費については、約5千万円を考えていたが、関係者や議員の皆様との意見を交わしながらよりよい設備を構築したいと考えているため、現時点でははっきり言えない。

郡山市に協力するだけでは

問 郡山市との連携協定を締結するが、連携した市町村が郡山市に協力するだけになる心配はないか。

答 郡山市が中心となる圏域が発展していくと、各市町村への波及効果が期待でき、圏域全体の活性化や魅力の向上に繋がっていくと考える。また、本市が独自に行う事業についても、優位性が出てくると考える。

一般会計補正予算

14億985万円を増額



建て替えを行う本宮第3保育所

「国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める意見書」を提出

全日本年金者組合本宮支部と大玉支部、二本松年金者の会から提出された「国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める陳情」については、審査の結果、採択となり、内閣総理大臣等に対し、意見書を提出することとしました。

《一般会計補正予算の主な内訳》

歳出

本宮第3保育所整備工事	5億6,997万円
市債繰上償還元金	3億9,350万円
市営住宅等管理基金積立金	2億 178万円

歳入

本宮第3保育所整備事業債	5億2,550万円
減債基金繰入金	3億7,500万円
財政調整基金繰入金	2億 209万円

総務文教常任委員会

平成30年度本宮市一般会計補正予算（第6号）のほか、議案3件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。



▲ランニングコース整備予定箇所
(本宮運動公園)

一般会計補正予算

本宮運動公園の基本構想の見直しは

説明 本宮運動公園内にランニングコースを整備するための設計委託料を補正する。

問 本宮運動公園全体の利用を含めて構想を見直す必要があると考えるが、基本構想の変更は可能か。

答 現在の基本構想を基に、実施設計の中で、詳細を検討していきたい。市民の健康増進を図る施設となるよう、意見を反映していきたい。

本宮市第2次総合計画基本構想の策定

言語教育が必要では

説明 「笑顔」あふれる「人」と「地域」が輝くまち「もとみや」をスローガンに、住みよさ維持・向上の取組を推進していく。

問 外国人労働者が増加している中で、東アジア諸国の外国語教育を行うべきでは。

答 まずは、英語教育が第一と考えている。本市においては、多文化共生の推進を図るため、外国人に対する日本語教育を行っている団体に対し補助を行っている。

現地調査

本宮運動公園のランニングコース整備予定箇所としらさわグリーンパーク野球場の現地調査を実施した。

生活福祉常任委員会

平成30年度本宮市一般会計補正予算（第6号）のほか、議案5件と陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。



▲汚染土壌の掘り起こし現場
(白沢運動場)

手数料徴収条例の一部改正

マイナンバーカードの無料交付の期間は

説明 コンビニ交付の開始に伴い、手数料徴収条例の一部を改正する。

問 マイナンバーカードの無料交付の期間は。

答 初回の交付は無料であるが、紛失などによる再交付については、一定の手数料が発生する。

一般会計補正予算

補正の理由は

説明 障がい者福祉サービス介護給付金の補正をする。

問 給付事業の補正内容は。

答 利用者の増加と児童発達支援、放課後デイサービスの基本報酬の改定によるものである。

陳情の審査結果

陳情第4号「国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める陳情」については、全国の知事会、同市長会・同町村会が国保の定率国庫負担の増額を要望していることを考慮し、意見書を提出すべきであると全委員の意見が一致し、採択すべきと決定した。

現地調査

白沢運動場の汚染土壌掘り起こし現場の現地調査を実施した。



▲建設中の地域交流センター
(本宮字九縄地内)

産業建設常任委員会

平成30年度本宮市一般会計補正予算（第6号）のほか、議案4件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

**本宮市市営住宅等
管理基金条例の制定**

基金運用の考え方は

説明 国からの交付金を基金として積み立てるための条例を制定する。

問 交付金と基金運用の考え方は。

答 近隣の借家の家賃と市営住宅の入居者家賃との差額について、基準により国から交付され、これを基金として積み立てることで、今後の復興公営住宅の維持管理等の財源として活用していく。

一般会計補正予算

交付金返還金の内訳は

説明 多面的機能維持活動支援事業の現地調査を行った結果、交付金の返還対象となる農地があったため、補正を行うものである。

問 多面的機能支払交付金返還金の内訳は。

答 返還金が生じた団体は6団体であり、返還内容は6団体であり、現地調査の結果、保全管理が行われていない農地等が含まれていたことに伴う返還となる。次年度以降の交付金については、返還対象農地を除外した上で交付する。

現地調査

地域交流センター建設現場の現地調査を実施した。

議会運営委員会

議会運営の先進地を視察

10月31日に、岩手県北上市において、議会運営全般、常任委員会の活動を基にした政策提言、議会モニター制度について、調査を行った。

議会運営全般については、常任委員会が年間を通して活動できる環境を整備すること等を目的として、通年議会を導入している。通年議会は、年4回行われていた定例会を年1回とするもので、現状の仕組みを残しながら、会期をほぼ1年間とするものである。4回の定例会の名称は「通常会議」、臨時会は「臨時会議」としている。導入の効果としては、議会の意思による議会開催が可能となったこと。また、年間を通して議会活動ができるため、常任委員会で調査・研究を行うことで、議会側からも政策的な提言を行うようになったことである。

次に議会モニター制度については、議会の活動に市民の意見を反映させ、円滑で民主的な議会運営を推進するため、議会モニター制度を導入している。議会モニターは、本会議や委員会の傍聴、議会ホームページの閲覧、議会中継の視聴、議会だよりの閲覧、市民と議会をつなぐ会への参加」の中から1つ以上の活動に取り組んでいただき、感想等を述べてもらうものである。定員は20名以内で、一般公募と団体推薦により募集している。意見の取り扱いは、議会の対応を協議し、報告書を作成、すぐに改善できるものは、取り組むこととしていた。

議会運営は、各議会によって多様な考え方と手法があり、本市の状況に最も合う姿を検討していくため、今後もさらに調査研究を重ねていく必要があると考えている。



▲北上市議会議長の説明を聞く議会運営委員

市長へ新年度予算編成要望書を提出



本市では、「水と緑と心が結びあつて未来に輝くまちづくり」を将来像に掲げ、地域の主体性と歴史を尊重しつつ住民相互の融和に努めながら、地域の特性を活用した発展するまちづくりを進めています。

その中で、本宮市自主的財政健全化計画と長期財政シミュレーションを遵守し、より効率的・効果的な財政運営を實行することは、市民の信頼と理解を得る上で大変重要であることから、市議会として12月4日に市長へ平成31年度予算編成に対する要望書を提出しました。

要望事項の一部をご紹介します。

総務文教常任委員会

- ・ 交流人口の拡大による人材育成と地域の活性化を図ること。また、国内外への情報発信と国際性豊かな人材育成を図ること。
- ・ 公共施設等総合管理計画の個別施設計画の策定に早急に着手すること。
- ・ 教育委員会は、知見を広げ教育現場に生かすため、視察、研修を行うこと。
- ・ 保育人材の確保に努めること。

生活福祉常任委員会

- ・ 社会保障・税番号制度に伴い、マイナンバーカード交付の普及促進に努めるとともに、マイポータル利活用の検討を進めること。
- ・ 老人クラブの育成支援を強化し、組織の拡充と会員の加入促進を図ること。
- ・ 平成30年4月に開設した「子育て応援センターあゆみ」を拠点に、妊娠・出産期から子育て期までの切れ目のない支援を行うこと。
- ・ 基準値を超える放射性物質を含んだ農業用ため池底質土について、放射性物質除去対策工を計画的に推進すること。

産業建設常任委員会

- ・ 農業担い手の育成・確保を図ること。認定農業者や新規就農者への支援を行うこと。
- ・ 社会資本整備総合交付金事業を活用した本宮駅周辺東西アクセス整備を推進すること。
- ・ 五百川駅周辺の整備事業の促進を図ること。
- ・ 集中豪雨に対応するため、万世・千代田地区等の浸水被害軽減に係る、本宮市排水対策基本計画に基づく排水対策を推進すること。

渡辺忠夫議員が総務大臣感謝状を受賞



10月26日に東京都千代田区の水テールポール麹町（麹町会館）において、都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式が挙行されました。

この感謝状は、議員として通算35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったと認められる方に対し贈られるもので、本市議会において渡辺忠夫議員が総務大臣感謝状を受賞されました。

渡辺忠夫議員は、昭和50年11月に白沢村議会議員に初当選されてから、10期35年7か月もの間、議員として務められてきました。

第6回本宮市議会 市民との意見交換会

第6回本宮市議会「市民との意見交換会」を市内3会場で開催しました。本年度は「これからの地域のあり方・活性化について」をメインテーマとし、①子育て・学校教育について、②くらしの安心・安全について、③まちの賑わい創出について、の3点を中心に市民の皆さんと意見交換をしました。それぞれの会場での結果を報告します。当日の詳しい会議録は本宮市議会のホームページに掲載しています。

いただいたご意見やご提案については、集約・精査を行い、今後の政策形成に生かしていきます。

本宮第一中学校区



開催日…11月5日
会場…えぼか

参加市民…9名

出席議員…斎藤雅彦、三瓶裕司、
円谷長作、山本 勤、
川名正勝、作田 博

(6名)

主なご意見

- ・他では電子黒板やタブレットを使用した授業がだいぶ進んでいると聞いているが、市でも力を入れて取り組んでもらいたい。
- ・街路灯や防犯灯が必要な地域は、一つでも多く整備してほしい。
- ・空き家対策と人口増加を考えると、空き家を借り上げ、子どもがいる転入世帯にあっせんするような補助を含めた検討をしてはどうか。

本宮第二中学校区



開催日…11月6日
会場…荒井地区公民館

参加市民…13名

出席議員…橋本善壽、川名順子、
國分義之、伊藤隆一、
国分勝広、渡辺秀雄

(6名)

主なご意見

- ・幼稚園を3歳児から通えるようにはできないか。
- ・みずぎが丘の街路樹で、交通に支障があるものや根が盛り上がっているものがある。市に話したら「木は切れない。」というのであった。支障ある場合には切ることができないか。
- ・市民の意見を本当に聴こうとするなら、年に一度ではなく開催すべきでないか。

白沢中学校区



開催日…11月7日
会場…白沢公民館

参加市民…15名

出席議員…石橋今朝夫、三瓶幹夫、
根本七太、渡辺善元、
渡辺忠夫、渡辺由紀雄

(6名)

主なご意見

- ・待機児童ゼロと言っても、実際に入れない人がいるので解決をしてほしい。
- ・自主防災組織はどうですかというからつくらない。かえってやりたくなくなる。そうではなくて、つくりましょうと呼びかけは。
- ・市は工業団地をつくるが、農業団地はつくらない。稲沢地区に市営農場を作れば、これから農業をやってみたい人が稲沢地区の人に限らず、ほうぼうから人が集まると思う。

本会議での討論

12月12日の本会議で、議案第77号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第77号

平成30年度本宮市一般会計補正予算（第6号）

本宮運動公園のみんなの原っぱにランニングコースを整備するための設計委託料などが計上されています。そのほか、主なものは、2ページのとおりです。

反対討論

渡辺忠夫議員

本宮運動公園内のみんなの原っぱに整備予定のランニングコースは、場所が適当ではないと思う。全大候型のランニングコースをつくる場合、競技性も考えなければならず、正式な400メートルのトラックや、平坦な場所での整備が強く求められる。白沢運動場であれば、周りに体育館や野球場などもあり、適地であると考ええる。本宮運動公園の場合、公園内に借地もあつて、全体構想が明らかになっていないので、もっと慎重な検討が必要であり、反対である。

賛成討論

川名順子議員

ランニングコース等整備事業については、関係団体との意見交換を通して、整備の必要性について、慎重な審議を行ってきた。その結果、市民のためのランニングコース整備にあつては、本宮運動公園全体の施設長寿命化計画について、全庁的に調整を図り、市民のスポーツ振興及び健康増進のため、計画を立てることとの意見を付して、原案の通り可決すべきものと全委員の意見の一致により、決した次第である。よつて、市民が利用しやすく、運動公園内の遊歩道をはじめとした、施設全体の一体的な利活用も考慮したうえで、市民の健康増進と競技力向上のため、事業を進めるべきである。

12月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は9ページのとおり全会一致で可決されています。

会派名	みらい創和会						新風会				共	志誠会			無所属				
議員名	川名	渡辺	円谷	三瓶	石橋	渡辺	國分	川名	山本	三瓶	斎藤	渡辺	根本	後藤	橋本	伊藤	作田	国分	渡辺
議案番号	正勝	善元	長作	幹夫	今朝夫	由紀雄	義之	順子	勤	裕司	雅彦	忠夫	七太	省一	善壽	隆一	博	勝広	秀雄
議案第77号	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（渡辺由紀雄）は採決には加わらない
 ※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第70号	本宮市市営住宅等管理基金条例制定について	原案可決確定
議案第71号	本宮市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用すること等に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決確定
議案第72号	本宮市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第73号	本宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第74号	本宮市第2次総合計画基本構想の策定について	原案可決確定
議案第75号	郡山市と本宮市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	原案可決確定
議案第76号	福島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決確定
議案第77号	平成30年度本宮市一般会計補正予算（第6号）	原案可決確定
議案第78号	平成30年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決確定
議案第79号	平成30年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第80号	平成30年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第81号	平成30年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決確定
議案第82号	平成30年度本宮市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決確定
議案第83号	本宮市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第84号	本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第85号	本宮市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第86号	本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第87号	平成30年度本宮市一般会計補正予算（第7号）	原案可決確定
議案第88号	平成30年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第89号	平成30年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決確定
議案第90号	平成30年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決確定
議案第91号	平成30年度本宮市水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決確定
報告第11号	専決処分の報告について（専決第9号 和解及び損害賠償額の決定について）	
発議第3号	国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める意見書	原案可決確定
	議員派遣について	決 定
	閉会中継続調査申出書（各常任委員会）	決 定

陳情一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件 名	提出者の氏名	審議結果
陳情第4号	平成30年11月21日	生活福祉	国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める陳情	全日本年金者組合本宮支部 支部長 石井 ミキ 二本松年金者の会 会 長 真弓 五郎 全日本年金者組合大玉支部 代 表 川崎かつ子	採 択

一般質問

市政を問う

12月定例会の一般質問は、10名の議員が登壇し、2日間にわたって行われました。

1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

11ページ：

■作田 博議員

- ・豊かな本宮の創造を
- ・ふるさと納税の活用は

■橋本善壽議員

- ・組織運営への補助事業の緩和は
- ・汚染土壌搬出は民家等の近くから

12ページ：

■円谷長作議員

- ・GAP認証取得の取組の現状は
- ・看板を統一し一目でわかるように

■石橋今朝夫議員

- ・遊休農地対策事業の再開を
- ・河川の水質改善対策は

13ページ：

■斎藤雅彦議員

- ・ランニングコース整備の要望は
- ・コミュニティスクールの計画は

■国分勝広議員

- ・放課後学習支援を行っては
- ・障がい者雇用制度の今後は

14ページ：

■川名順子議員

- ・アピアランスケアの支援を
- ・新生活運動の取り組みを

■渡辺秀雄議員

- ・南達で共有化、共同利用の検討を
- ・共助の体制づくりの強化を

15ページ：

■根本七太議員

- ・定住人口増加に向けた対策は
- ・公共施設の駐車場の維持管理は

■渡辺忠夫議員

- ・店舗リニューアルの助成をしては
- ・市民中心の発電所をつくっては



菅森山の遊歩道の整備を（本宮字館ノ越地内）



問 豊かな本宮の創造を

答 最もポテンシャルを持った地域

作田 博
議員

問 豊かな本宮の創造を目指すとき、道の駅は大きな可能性を秘め、何かを実現できるような潜在的要素があると思われ。道の駅の調査研究、すなわちプロジェクトチームを早急に立ち上げるべきではないか。

答 本宮インターチェンジの周辺は都市計画マスタープランでも地域拠点として位置づけられ、最もポテンシャルを持った地域である。産業部、建設部、国土利用計画担当の市長公室と緊密な連携を取り、この周辺の在り方について検討していきたいと考えている。

問 菅森山の遊歩道の整備について伺う。今回ほぼ全域が除染されたが、変ざれいな山になったが、木立が景観を損ねている。全山周回できる遊歩道や眺望のできる場所の確保が望まれている。ふるさと納税者の意向もあるが、これを活用しては。

答 ふるさと納税の使途については、厚意に沿う形で活用させていただいている。花山公園の整備については、公園の景観維持に努め、遊歩道の整備は現地調査を進め、地元住民の皆様方との意見交換をさせていただきたい。

その他の質問

- 6次産業を含めた商品開発は
- 漫画で学ぶ本宮の歴史書を制作しては



問 組織運営への補助事業の緩和は

答 補助拡大について検討する

橋本善壽
議員

問 今後、大規模農業を行うためには、集落営農や法人化した地区での農業が主流になると思う。そのためには設備投資が必要であるが資金がない。組織を運営していくため、補助事業の規制緩和や、利用しやすい新たな制度等を考えていくべきでは。

答 今、国が推奨している「人・農地プラン」を作成してくれるような環境づくりが必要かと考える。その上で営農組織等については、地域の農業を地域で考えていくという観点から、補助の拡大については検討していく。

問 汚染土壌搬出は民家等の近くから

答 国との協議を進める

問 来年度、市内に仮置き場から搬出しては。仮置き場建設に協力していただく皆さんのためにも、通学路や民家に近い

答 搬出については、市民の皆様のご理解をいただきながら進める。国は2020年までに、幹線道路から見える除染土壌を無くしたいという方針である。民家から近い仮置き場からの搬出希望があることを念頭に置き、国との協議を進めていく。

その他の質問

- 水田の排水路整備の考えは
- 市道・県道の法面除草や伐採の実施状況は



設備投資のためにも補助条件の緩和を



全天候型ランニングコースのイメージ (写真はカントリーパーク東和)



問

ランニングコース整備の要望は
400mは次段階の課題と考える

齋藤雅彦
議員

問

ランニングコースが陸上競技選手の練習環境整備、競技レベルの向上を目指しているという目的が半分でもあれば、平らで長距離ばかりでなく、短中距離の選手が練習できる正式な400mトラックコースを検討すべきではないか。

答

全天候型400mトラックの整備は、次の段階の課題と現在捉えている。既存の運動公園内の多目的グラウンド、白沢運動場などを含め、全体の利活用及び環境整備の方向性について、今後考えていきたい。

問

コミュニティスクールの計画は
2022年度までに全小中学校導入予定

問

平成31年4月に導入予定の五百川小のコミュニティスクールは、どのような支援団は、どのような学区内の企業や団体か。また、五百川小をモデルに市内の全小中学校に順次導入に向けた準備を行うとのことだが、今後の導入計画は。

答

学校支援団体のメンバーは販売業8社、食品製造業6社、自動車整備業2社、製造業2社など22社の登録をいただいた。2020年度に岩根小と本宮二中、2021年度に本宮小、まゆみ小及び本宮一中、2022年度に糠沢小、和田小、白岩小及び白沢中を予定している。



問

放課後学習支援を行っては
今後も調査・研究していく

国分勝広
議員

答

学習指導員を派遣して、直接指導は行っていない。本市においては、地域の特性を生かした、適切な学習支援や他の市の状況を参考に調査・研究を行い、学力向上を図っていく。

問

障がい者雇用制度の今後は
今後も採用に向かっていく

問

本市の障がい者雇用率は、平成30年度は2人で雇用率に達していない。障がい者多数雇用している企業では、仕事や生活上の悩み等の相談に応じる職員を用意して、働き手としての能力を発揮しやすくしている。市の今後の考えは。

答

本市としては、法定雇用率を守るべく採用に向かっている。また、市では、新採用職員にサポーターを付け、順応できるよう努めており、障がい者に対しては、健常者以上に配慮していかねばならないと考えている。

問 本市の子どもの学力が県平均より少し低い理由だが、経済的事情等の理由で塾に行くことが困難な子どもたちのために、放課後学習支援等の方策を講じてはどうか。

その他の質問

- 子ども支援事業の財源を増額しては



放課後学習支援を行い学力の向上を図るべき

その他の質問

- 施設個別計画策定はどの程度完成したか



施設の共同利用を検討しては

問 投資効果、財政負担を考えると、これからは全て希望通りの施設は持てないのでは。集会所やプールなど、維持管理費を見据え、南達2市村で施設の共有化、共同利用の調査検討をどうするか。

答 近隣自治体がお互いの施設面での弱点を補完しあいながら、相互に共有して使うということは、それぞれの施設の維持管理の軽減にもつながる。有効活用を図ることには、今後想定していかねければならないと考え

問 一人暮らし世帯などの増加で、地域活動が弱くなり、住民相互が支えあう体制づくりが困難になってきている。共助の先進的な取り組みがなされている先進自治体を調査・研究し、強化を図るべきでは。

答 高齢化や世帯数の減少により、相互に支えあう体制をとることが困難になっているという点には、たいへん憂慮している。重要な仕組みと捉えており、強い共助の体制づくりに向けた調査・研究を行いたい。

その他の質問

- 南達連携道路の整備計画を
- 職員の代休取得の状況は



問 南達で共有化、共同利用の検討を
答 今後の課題と考える

渡辺秀雄 議員

問 共助の体制づくりの強化を
答 重要な仕組みと考えている

問 第3期がん対策推進基本計画で、アピアランスケアの問題が明記され、対応が本格化されている。がんとの共生、治療と仕事の両立等、社会生活を送るうえで、ウィッグや補正下着等の購入費用を助成する考え

答 アピアランスケアは外見のケアだけではなく、がんと闘う患者を精神的に支え、自分らしく生活し、社会とのつながりを持つ手段の一つであり、日常生活を営む上で不可欠だと考えている。支援をしている自治体も多くなってきたおり、支援の実態を調査する。

問 長生きすると、たくさん友達を見送り、お一人様になってお葬式の付き合いも大変になり、香典返しも箱ばかりになってきたとよく聞く。「新生活運動に賛同し香典返しは辞退申し上げます」というシールを作成し、市民生活に浸透するよう啓発活動をしては。

答 戦後、日本は経済的につらい状況にあり、少しでも負担を軽くする目的で新生活運動が始まった。昭和後期のバブル経済とともにその運動は徐々に薄れた。新生活運動の趣旨について十分理解でき、今後他市町村の取り組みを調査し検討する。

その他の質問

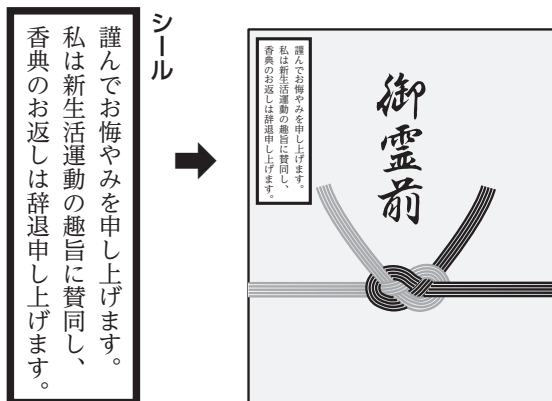
- 小中学校へのがん教育は
- 医療的ケア児への対応は



問 アピアランスケアの支援を
答 各自自治体の支援実態を調査する

川名順子 議員

問 新生活運動の取り組みを
答 合理的な生活習慣と理解している



新生活運動を促進するシールを作成しては



交流人口の増加が期待される英国庭園



問 定住人口増加に向けた対策は 議論を重ね前に進める

根本七太
議員

問 定住人口の増加に向けた取り組みについて。企業誘致活動の現状と今後の取り組みは。市営住宅、定住促進住宅等の入居状況と今後の課題は。本市観光資源を生かした交流人口への取り組みは。婚活事業の現状と次年度に向けた取り組みは。

答 現在、企業誘致する土地がない。立地希望企業も少ない。今後、製造業はもちろん、多種多様な企業誘致に取り組む。住宅の空室は37戸、快適な住環境の整備に努める。試行巡回バスは、来年度も今年度と同様に進める。婚活事業は、カップル成立51組、婚活サポーターを組織化し支援体制を構築したい。

問 公共施設の駐車場の維持管理は、全体的な整備方針をまとめたいため、小中学校、公民館、消防団屯所などの駐車場の冬季除雪作業は、近隣の方々のボランティアにより安全が保たれている。作業面から路面舗装の要望があり、長い目で見ると費用対効果は大きいと見る。早急に取り組むべきと思いが見解は。

答 小中学校、公民館等の除雪作業に地域の皆様のご協力をいただいております。感謝しております。今後、施設の現状、利用状況、舗装の必要性等を考慮し、全体的な整備方針をまとめていく必要があると考えています。

その他の質問

- 公共用地への不適切な看板の設置について



問 店舗リニューアルの助成をしては 商工会等と協議して支援策を探る

渡辺忠夫
議員

問 魅力ある店舗づくりに取り組みする市内中小規模の事業者を支援し、商業等の活性化を図るために補助金を交付してはどうか。群馬県高崎市で創設されたこの制度は、業者と地域に元氣と明るさを与えている。本市も導入してはどうか。

答 中小企業を取り巻く状況は年々きびしくなってきた。後継者不足等の問題がある。これらの支援は必須なものとして認識している。小規模事業者などのような形で支援すべきか、商工会等と協議しながら支援策を探っていききたい。

問 市民中心の発電所をつくっては 小規模電力の会社設立の考えはない

問 大震災以降、温室効果ガスの排出量は増加しており、パリ協定では世界の平均気温上昇を抑えることが合意された。国でも2030年には再生可能エネルギーが24%とする見通しである。市民中心の小規模発電所の設置の考えは。

答 再生可能エネルギーについては地域にあった取り組みがされている。市では太陽光発電の個別、各戸への設置助成、また、要綱に基づき事業者が設置を進めている。右根地区にメガソーラーの予定もあり、市の特性と考えるが、小規模電力会社設立の考えはない。

その他の質問

- 2019年度予算編成について
- 礼堂地内の除染事業について



太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を



12月定例会を傍聴された方は4人でした。今回はその中から佐藤英子さん(和田字大谷戸)に傍聴の感想をお聞きました。

議会傍聴感想

今回の傍聴は、友人に突然誘われて、予備知識も何も無く出かけてしまいました。住所・氏名を記入するだけの簡単な手続きで議場に入ることができました。厳粛な空気の中、議長の開会宣言で始まりました。議員の質問、要望等に対して市長をはじめ、各担当部長がスムーズに答弁されておられました。議員の方が持ち時間いっぱいを上手に使い、少し早口でしたけれども見事に質問されておりました。私は、今回で2回目の傍聴でしたが、傍聴者が私を含めわずか3名でしたので寂しく感じて帰りました。モットコムや議会だよりで議会の内容はわかると思いますが、多くの市民の方が議場へ出かけて傍聴して頂き、議員の後押しや、福島へのそのまちもとみやの発展を応援していけたら、もっと住み良い本宮市になると感じて来ました。

佐藤 英子さん

おじゃましました!

今号の表紙は、本宮第2保育所で撮影しました。撮影した写真の一部をご紹介します。ご協力ありがとうございました。



お団子こねこね…



お団子が落ちないように…



できた!

次回**3月定例議会**は
3月7日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
2月25日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営
委員会で決定します。
問い合わせ TEL 24-5435(直通)

あしがき

新年あけましておめでとうござい
ます。

今年「亥」の年ですが、「己亥」は60年に一度しかやってきません。前回の己亥の年に生まれた人は60歳になります。そう考えると貴重な一年ではないでしょうか。60年前のこの年、岩戸景気で高度経済成長時代を代表する出来事が、当時の皇太子さまと美智子さまのご成婚です。60年前に結婚された当時の皇太子さまが、2019年に天皇を退位され、新時代の幕開けとなる年です。平成31年も「議会だより」を一人でも多くの皆様に読んでいただけるよう、努力してまいります。

寒さが厳しくなりますので、ご自愛
ください。
(石橋)

発行責任者 議長 渡辺由紀雄
副議長 渡辺善元
委員 渡辺善元
委員 石橋今朝夫
委員 三瓶朝夫
委員 橋本善壽
委員 後藤省一
委員 渡辺秀雄